

子どもの貧困 とやまの現場から

<下>

12歳の少年は食い入るのに少し見つめた。夕方の二時半、母が交通事故で亡くなった。10月17年12月、窓の外は雪が降っていた。聞かなければ母ではないだと思いついた。【運営のなつかやつた】

富山市立愛宕小学校の生徒だった柳原夫さん(58)=東京都八王子市)=は、その日の午後、面を今も鮮明に覚えていた。歩道にいたとき、お年寄りにはねられたのだといつた。「お父さん」だった父の死の頃、病院で恵美子が取った。彼女たちはおらず、祖母と母との人間関係。父の仕事を引き継いだ祖母は意外に寂しそうで、柳原さんは母ではないだ時も一人で寂しかった。母の死の直後は、ショックのおかげで「死んでしまった」と思っていた。祖母は彼の情報を記した医療人に貸し出人を教える。お年寄りになら、母の死したお金も少しあった。食べるものが困ると困るのではなかったが、苦しかった。これまでの経験を

サポート役

夢や希望持つていい

運営されたばかりながら、これまでの経験はやはりのサイクリング自転車が欲しかったのに、祖母は「貰うのいい家とは違うんだから」とすぐには買ってくれなかった。「やがてはいつかは買えるのか…」彼女は意識は強く、娘の死や自分の感情を癒さないまま、母の先生に紹介された交通運営費基金の奨学金で富山第一高校に通った。大人に困った今だから分かる。日本で現

在問題になっている相対的貧困に悩んでいた。相対的貧困は大学時代の生活費たりに迷ったが支えられた。交通運営費基金や学生寮(東京)で何が運営の向世代と知り合った。奨学金を利用す

た。千葉商大に進み、向青英会が設立した学生寮(東京)で何が運営の向世代と知り合った。奨学金を利用す

た。それがサポートして来た。が交際を深めるイベントも参加し、自身の経験や心の痛みに向き合始めた。社会の問題も

考えやめになり、「自分だけ不幸な状況のようを感じていたが、さんは昨年4月から、子の仲間と出会い、「と振り返る。の貧困対策に取り組む企画団体を背景に「子どもの貧困を巡る問題」に悩んでいた。相対的貧

困に悩んでいた。相対的貧困は、自分が支えられた。運営に若い世代も関わる。國へ

に迷ったが支えられた。交通運営費基金や学生寮(東京)で何が運営の向世代と知り合った。奨学金を利用す

た。千葉商大に進み、向青英会が設立した学生寮(東京)で何が運営の向世代と知り合った。奨学金を利用す

た。それがサポートして来た。が交際を深めるイベントも参加し、自身の経験や心の痛みに向き合始めた。社会の問題も

考えやめになり、「自分だけ不幸な状況のようを感じていたが、さんは昨年4月から、子の仲間と出会い、「と振り返る。の貧困対策に取り組む企画団体を背景に「子どもの貧困を巡る問題」に悩んでいた。相対的貧

困に悩んでいた。相対的貧困は、自分が支えられた。運営に若い世代も関わる。國へ

高志の国文学館内レスト 「リ・ゲスト」来年3月

<上>

親亡くした体験原点



親を亡くした子どもの支援を表年
続けてきた柳原さん=あすのは

の政策提言や全国で活動する団

体への援助、給付金などの実績に

て支撑を埋める。

継続的に豊かとされる富山に

向けて、柳原さん=あすのは

親を亡くした子どもの支援を表年

続けてきた柳原さん=あすのは

の政策提言や全国で活動する団

体への援助、給付金などの実績に

て支撑を埋める。

日馬富士暴行認める

鳥取県警 証言食い違ひ解明へ

別の診断書

を含む、事実関係の説明を進

めた。

黄の岩園の診断書は、右中頭蓋底骨折などのが、発生福岡市の発達した別の病院のものがあることが判明。福岡の診断結果と比べ、症状が軽



がら、のんびりと園内を散歩する人の姿が見られた。

富山市五福公園でイチヨウの落葉が進み、園内の歩道や芝生を鮮やかな黄色に染めている。晴れ間が広がった17日、秋の終わりを感じさせる光景を眺めな

いこれまでの経験が、いままた

困り苦しんでいる子どもたちに

伝えた言葉がある。

「夢や希望持つていいんだ

母親切りつけた疑い

城端の32歳男逮捕

父親をが命に別れなし

刃物で母親(58)の頭を切り

殺されたが、

回収するが、

刃物で母親(58)の頭を切り

刃物で母親(58)の頭を切り

殺されたが、

刃物で母親(58)の頭を切り

刃物で母親(58)の頭を切り

刃物で母親(58)の頭を切り

大相撲の横綱田嶋富士門

(33)「モンゴル出身」が黒取

市内で平野貴ノ若選手(2)に暴

行し黒帯を剥ぎた。田嶋富士門は

材だからだ。田嶋富士門は

黒帯は既に現場となっ

た。柳原夫さん

は、その時のアシスタ

ントとして、

柳原夫さん

は、その